

令和5年度
北陸地方整備局 総合評価審査委員会

令和5年度 実施結果

工事関係	P 1 ~ P 1 0
業務関係	P 1 1 ~ P 1 4
各部会等実施状況	P 1 5 ~ P 1 6

令和6年3月18日
北陸地方整備局

公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律（H26.6.4）

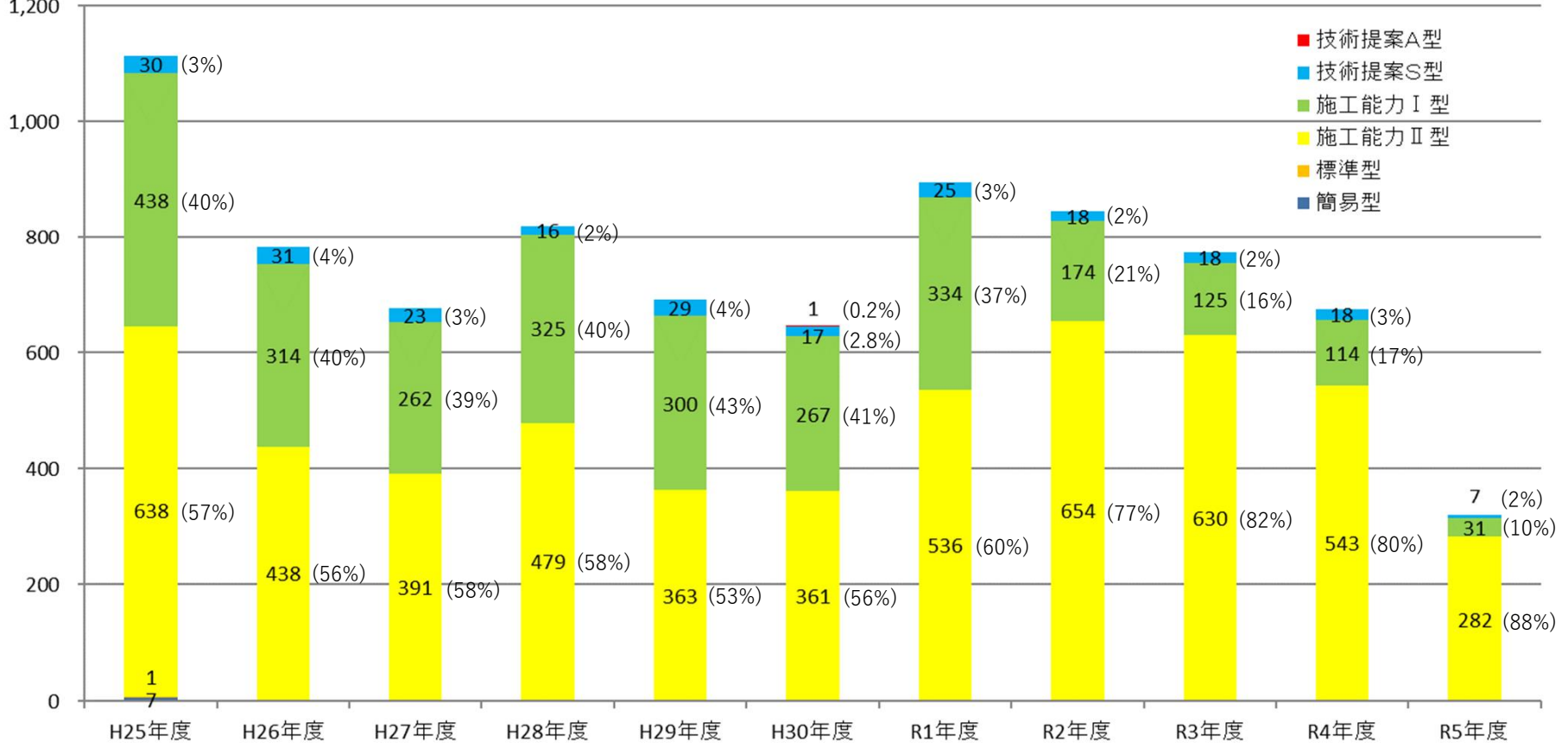
公共工事の入札契約方式の適用に関するガイドライン（H27.5月）

施工能力・技術提案（2極化）

目標

実施率 (96.2%) (97.5%) (99.0%) (99.4%) (99.3%) (99.1%) (99.9%) (99.4%) (99.5%) (99.7%) (99.4%)

(件) 1,200



※件数は、建設及び港湾空港関係。 随意契約を除く。
R5年度は、令和5年4月～令和5年12月末までの契約件数。

落札者の傾向（得点と価格） 施工能力評価型 I 型

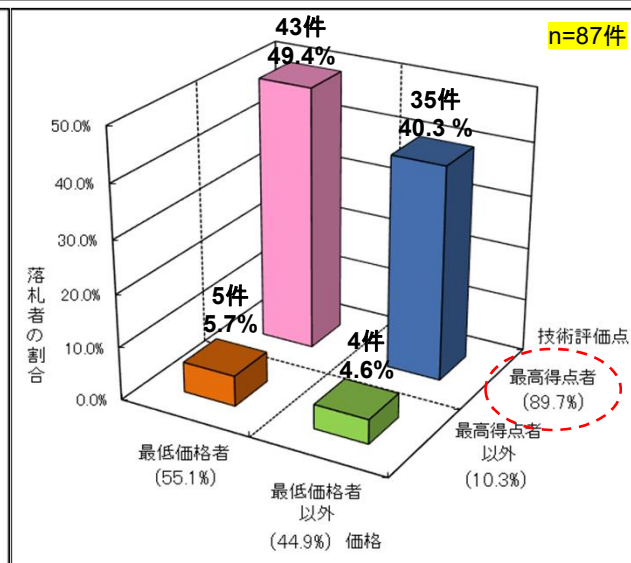
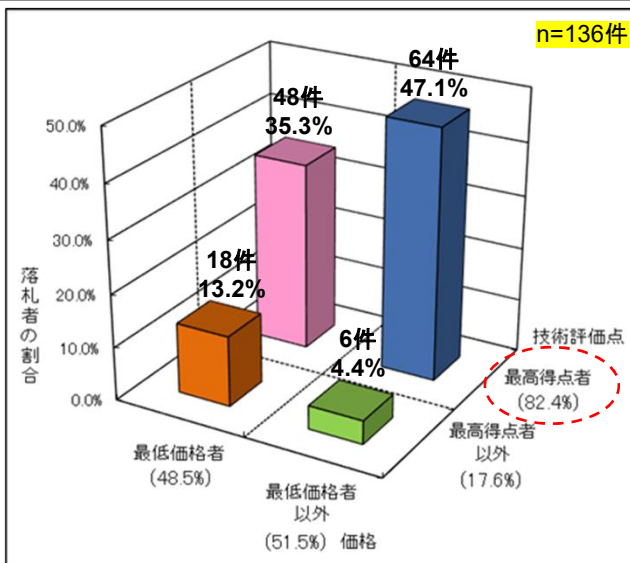
【工事関係】

○ R 5 の施工能力評価型 I 型においては、技術評価点の最高得点者が落札が約 8 割の者が落札している。
 ○ R 3・4 は、技術評価点が最高かつ最低価格者の落札者の割合が約 5 割であり、技術評価点に差がつきにくい傾向であったが、R 5 は、若干の減少傾向である。これは、R 5 から施工計画のテーマを工程表立案は不可としたためである。

施工能力評価型 I 型

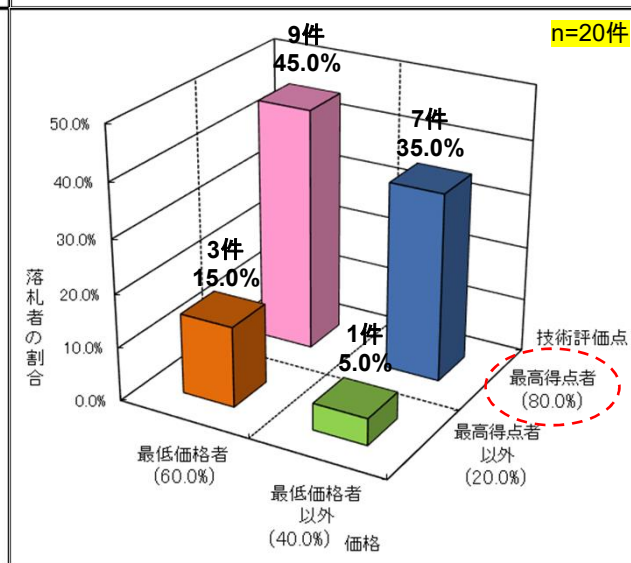
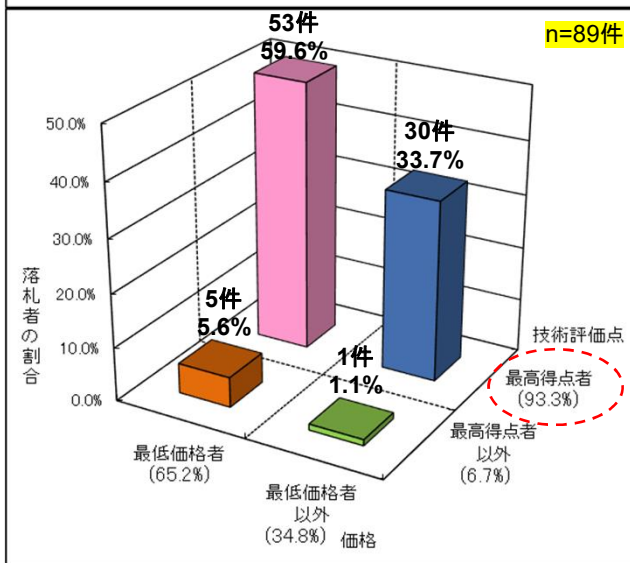
令和2年度

- 技術評価点が最高で最低価格者
- 技術評価点が最高で最低価格者以外
- 技術評価点が最高以外で最低価格者
- 技術評価点が最高以外で最低価格者以外



令和3年度

令和4年度



令和5年度

※競争参加者が1者の工事を除く。

※建設及び港湾空港関係

※令和5年度は、令和5年12月末までの契約件数。

※ () は価格、加算点毎の者数割合

落札者の傾向（得点と価格） 施工能力評価型Ⅱ型

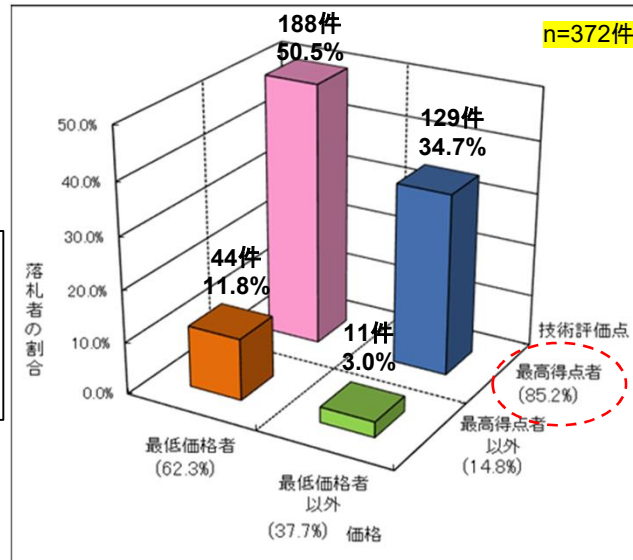
【工事関係】

- R 5 の施工能力評価型Ⅱ型においては、最高得点者の落札が約 9 割となっており、若干の上昇傾向となっている。
- Ⅱ型の工事はⅠ型よりも技術的難易度が低く、技術評価項目として施工計画や技術提案を求めている。

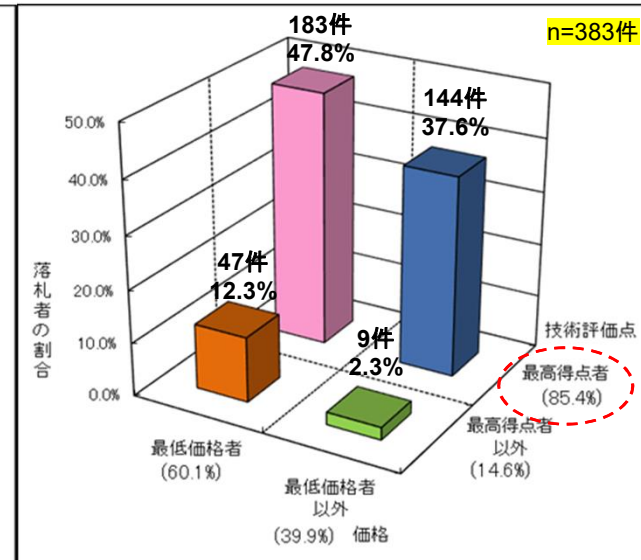
施工能力評価型Ⅱ型

令和2年度

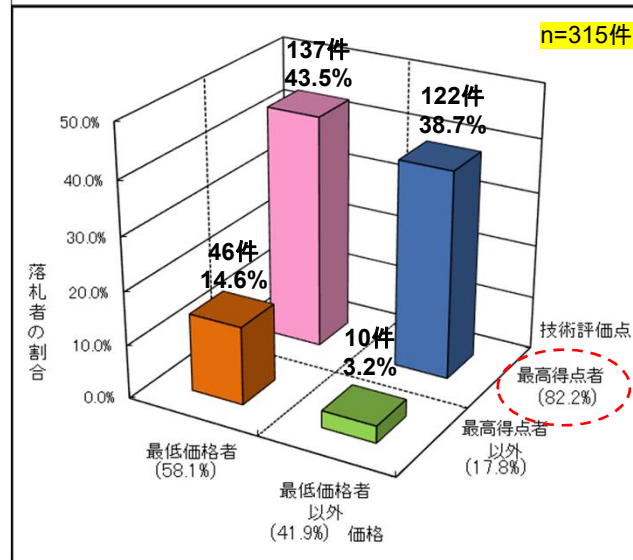
- 技術評価点が最高で最低価格者
- 技術評価点が最高で最低価格者以外
- 技術評価点が最高以外で最低価格者
- 技術評価点が最高以外で最低価格者以外



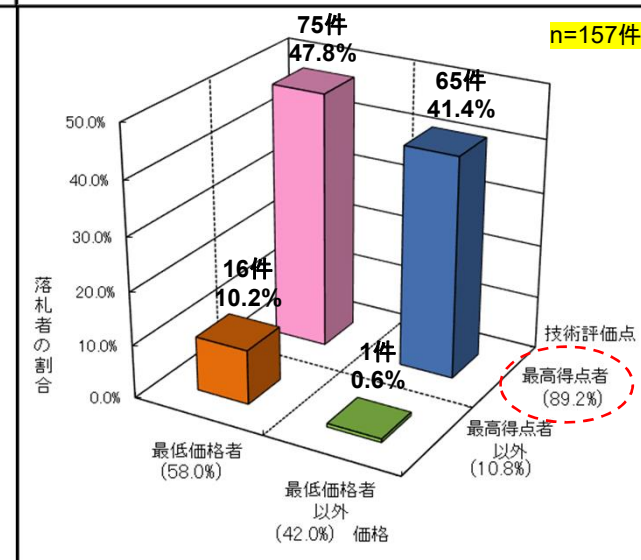
令和3年度



令和4年度



令和5年度



落札者の傾向（得点と価格）技術提案評価型 S 型

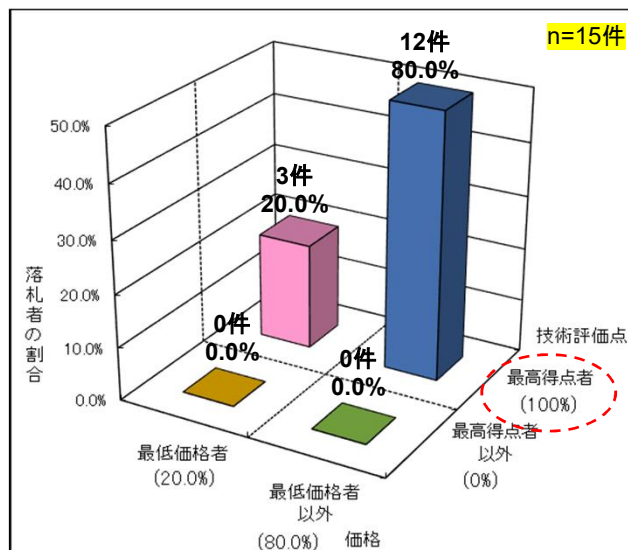
【工事関係】

○ 技術提案評価型 S 型は工事技術的難易度が高く、技術提案の配点が高いことから、R 2 以降、技術評価点が最高、かつ最低価格者以外の者が受注する割合が高く、技術提案で高い評価を受けた者が受注する傾向。

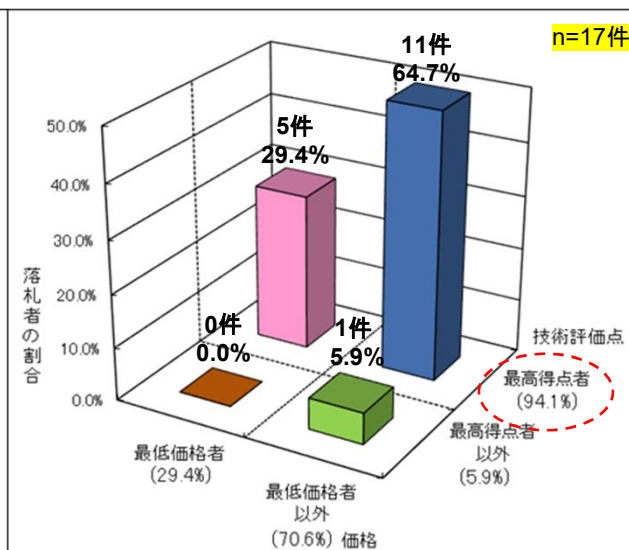
技術提案評価型 S 型

令和2年度

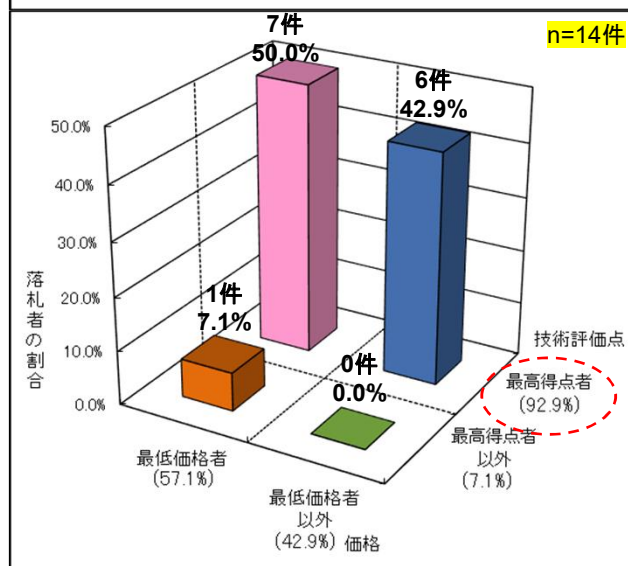
- 技術評価点が最高で最低価格者
- 技術評価点が最高で最低価格者以外
- 技術評価点が最高以外で最低価格者
- 技術評価点が最高以外で最低価格者以外



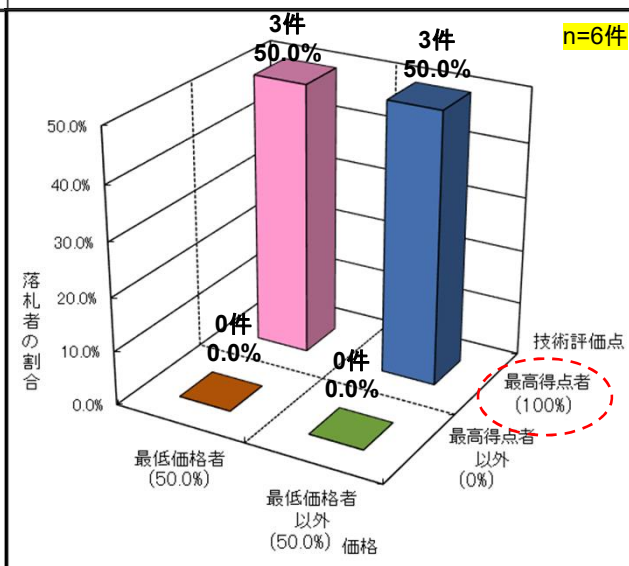
令和3年度



令和4年度



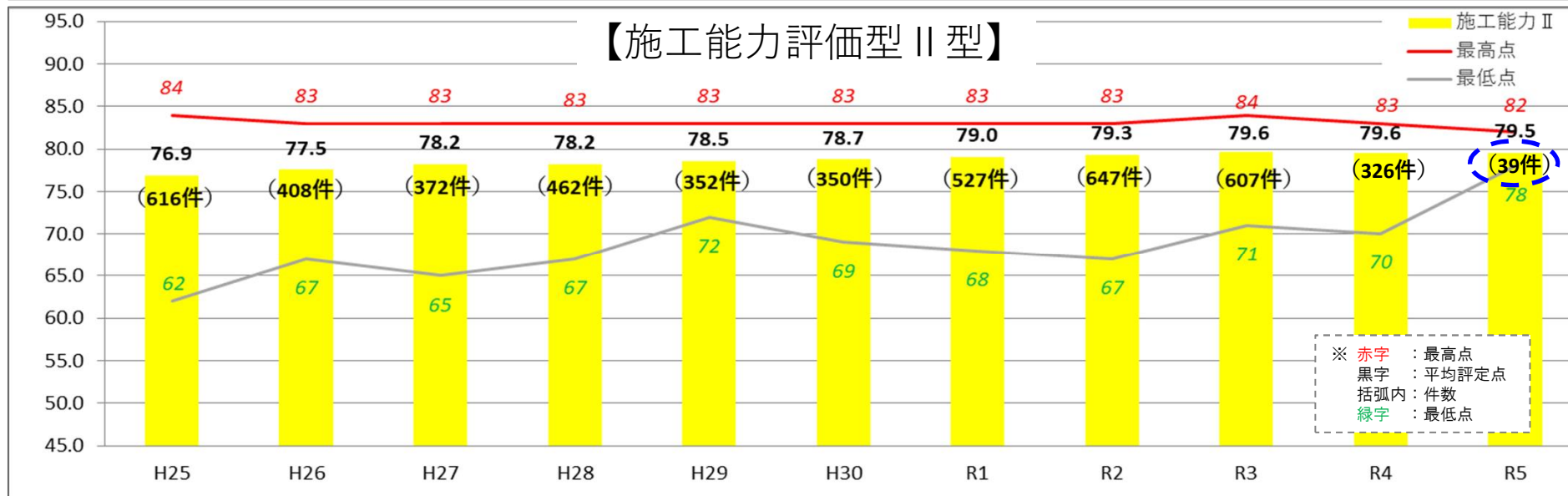
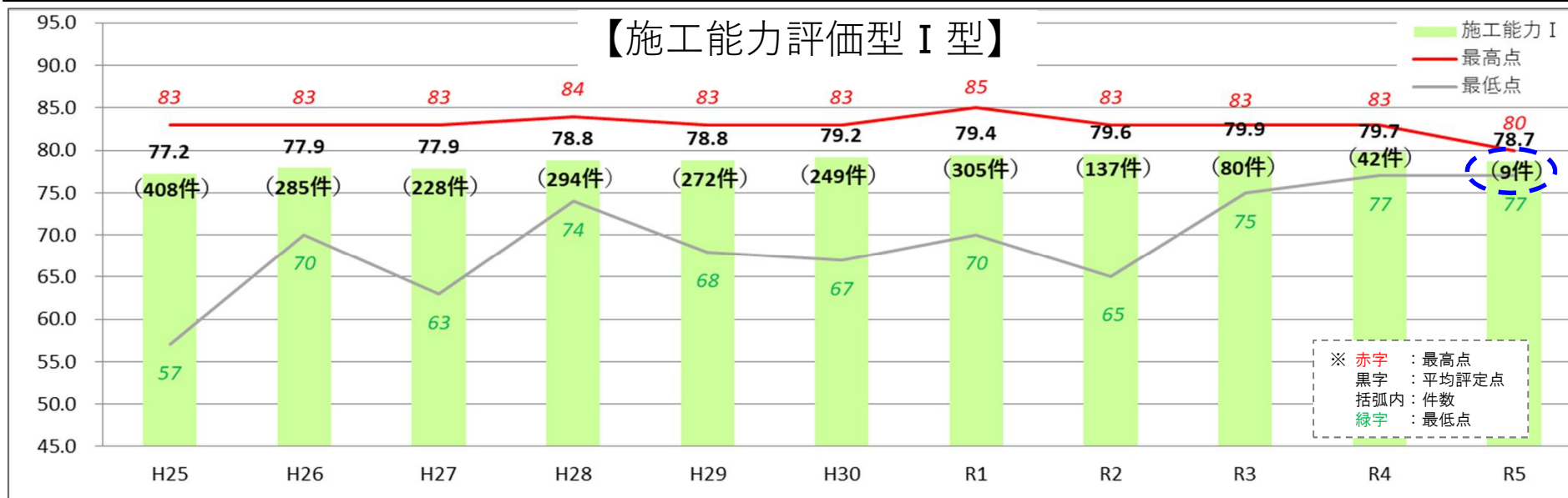
令和5年度



総合評価落札方式における工事成績評定点の推移

【工事関係】

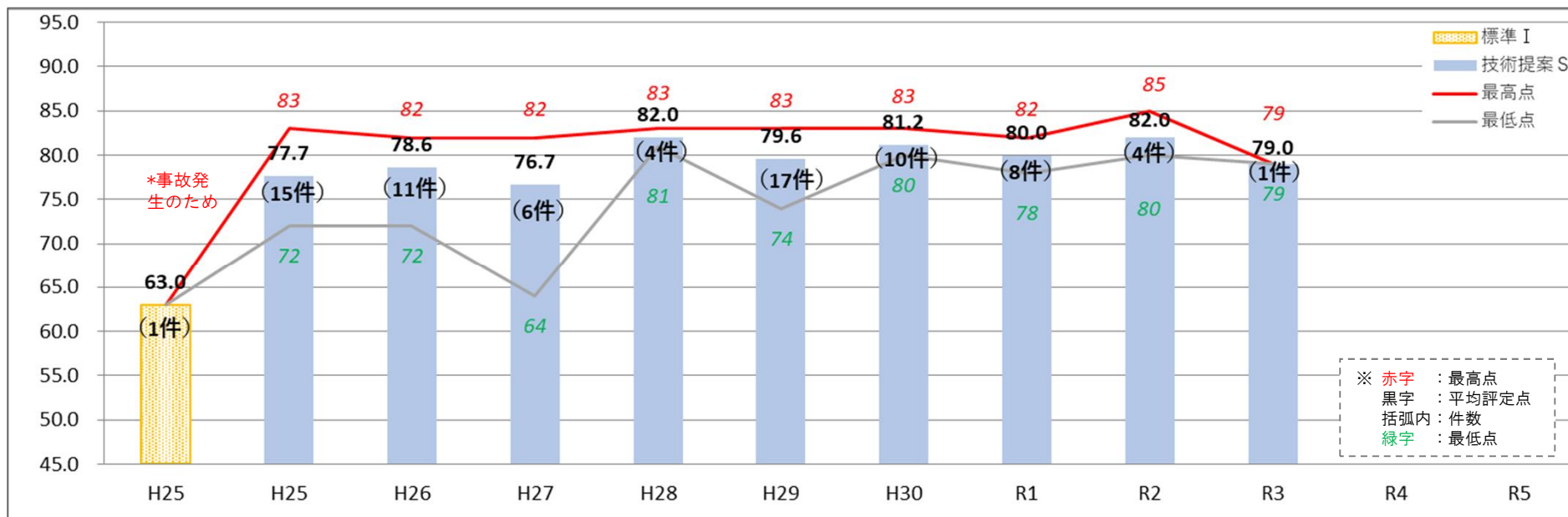
○ I型でもII型でも工事成績平均点は安定傾向である。ただし、最低点が上昇しており、最高点と最低点の差が縮まる傾向にあり、平均的な工事の成績は上がっていることが推測できる。



※発注年度ベース：平成25～令和5年度（R5. 12. 31現在）、工事成績：最終請負金額：500万円以上（税込み）、港湾空港関係除く

- S型は工事成績平均点が安定傾向であり、最高点と最低点の差が縮まる傾向にある。
- 近年件数は少なくなっているが、工事技術的難易度が高く、技術提案の配点も高いことから、より優秀な者が受注し品質確保・向上に寄与しているため、工事成績の平均点が80点を超える傾向が見られる。

【技術提案評価型S型】



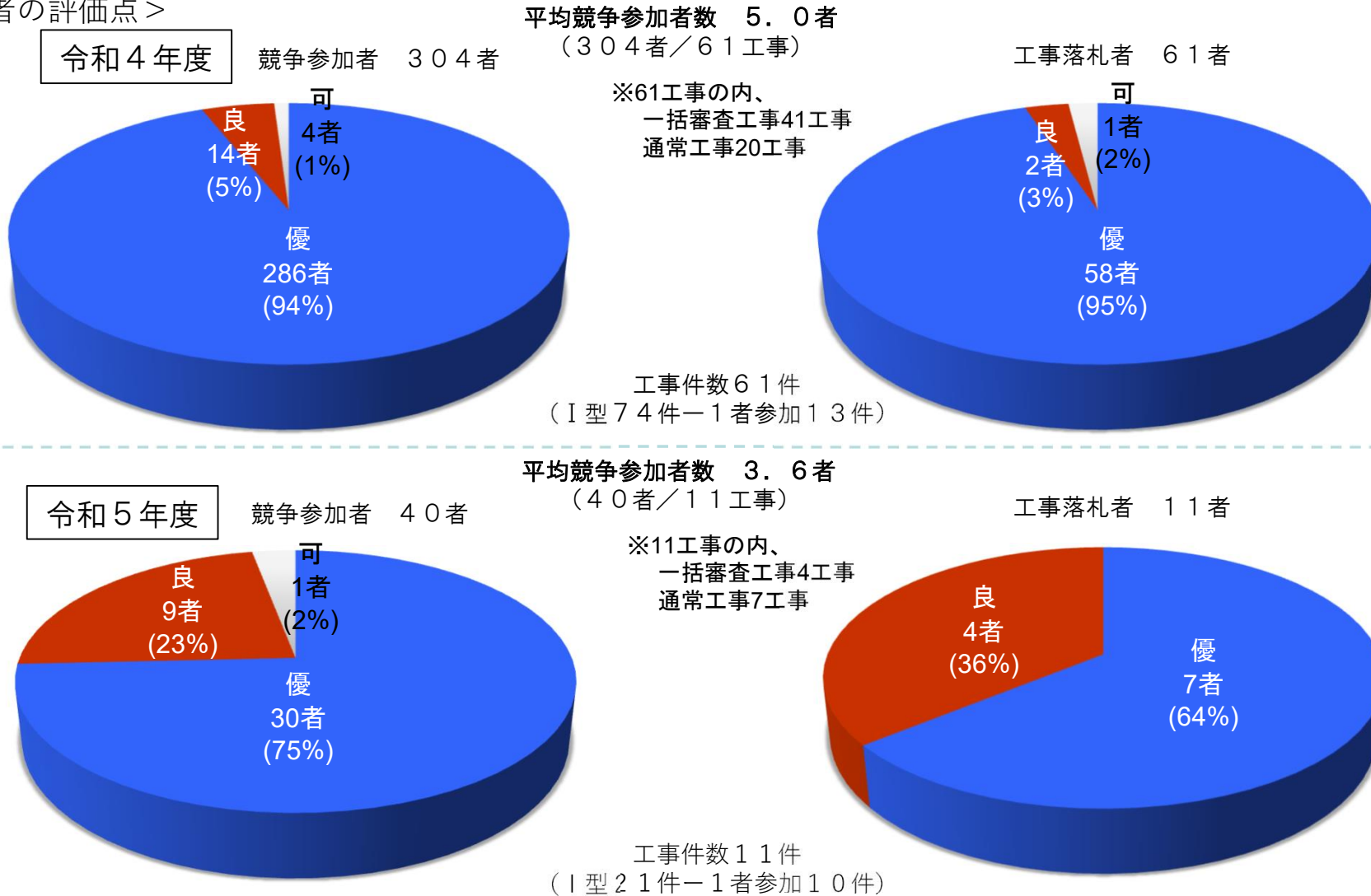
※発注年度ベース：平成25～令和5年度（R5.12.31現在）、工事成績：最終請負金額：500万円以上（税込み）、港湾空港関係除く
 ※ H 2 5 は事故発生のため評定点が低い

施工能力評価型 I 型の評価結果

【工事関係】

- コロナ禍における入札手続き書類の簡素化の観点から、一部を除き施工能力評価II型で発注。
- 令和4年度は、求める施工計画の提案が工程表立案となるため、参加者のほとんどが「優」となっているが、令和5年度は工程表立案を認めていないため、「優」の割合が減少している。

<参加者の評価点>



※令和5年度は、12月末までの契約件数。港湾空港関係を除く。

複数入札と1者入札の工事成績比較

【工事関係】

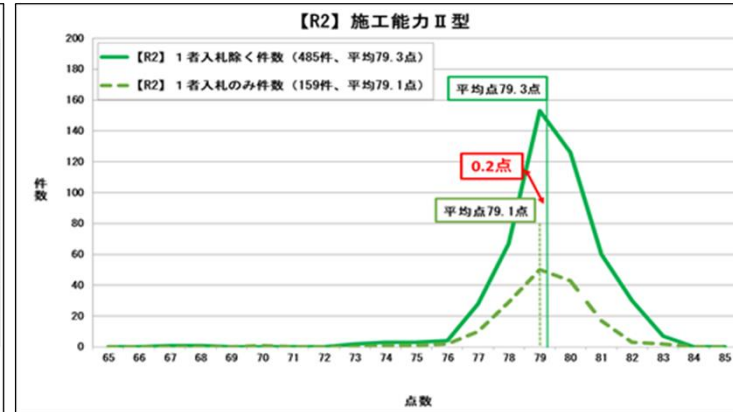
- 各総合評価における工事成績平均点について、複数者入札と1者入札による工事成績平均点を比較した。
- 工事成績平均点については、ほぼ差がなく、工事品質に影響はない。

年度	総合評価落札方式	通常集計		1者入札除く		1者入札のみ		平均点の差
		件数	平均点	件数	平均点	件数	平均点	
R2	施工能力I型	137	79.6	122	79.8	15 (14)	78.1 (79.0)	1.7 (0.8)
	施工能力II型	644	79.3	485	79.3	159	79.1	0.2
	技術提案S型	4	82.0	4	82.0	0	0	-
R3	施工能力I型	80	79.9	73	80.0	7	78.9	1.1
	施工能力II型	603	79.6	457	79.7	146	79.3	0.4
	技術提案S型	1	79.0	1	79.0	0	0	-
R4	施工能力I型	42	79.7	32	79.6	10	80.0	0.4
	施工能力II型	326	79.6	178	79.6	148	79.6	0
	技術提案S型	0	0	0	0	0	0	-

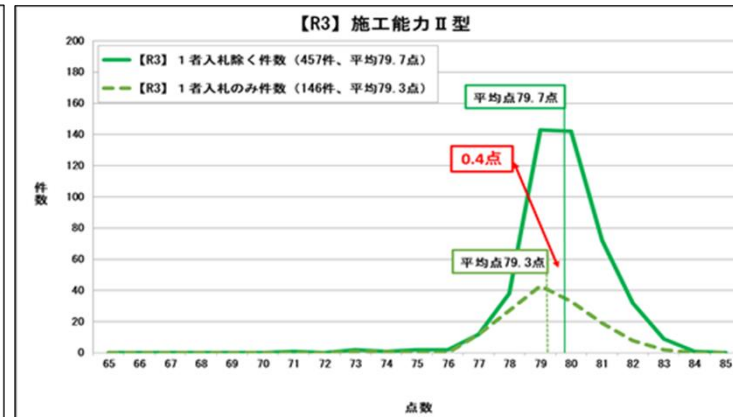
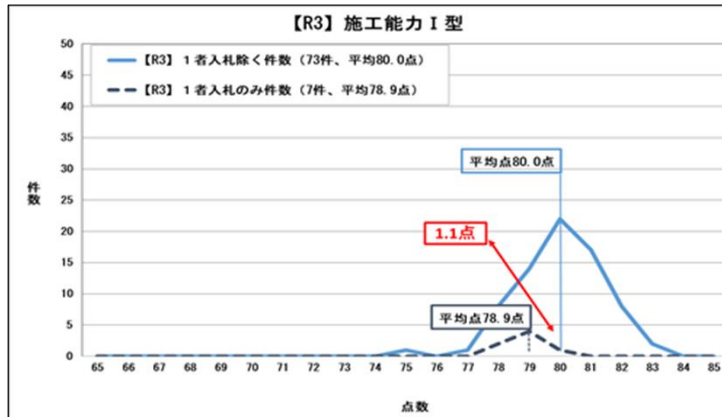
()は、工事事故の虚偽報告による減点が発生した、工事成績65点1件を除いた値

複数入札と1者入札の件数及び点数の状況

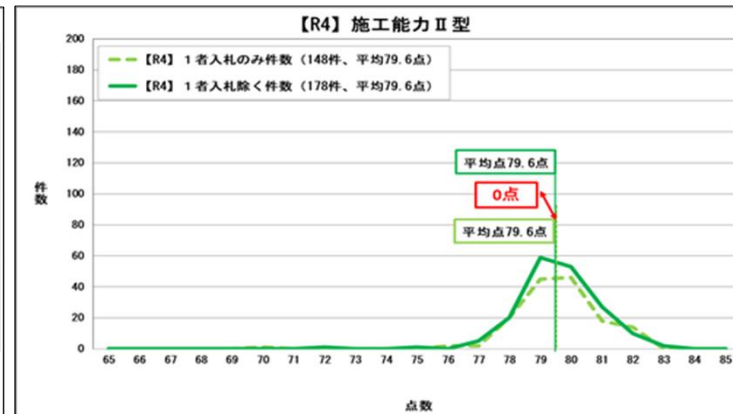
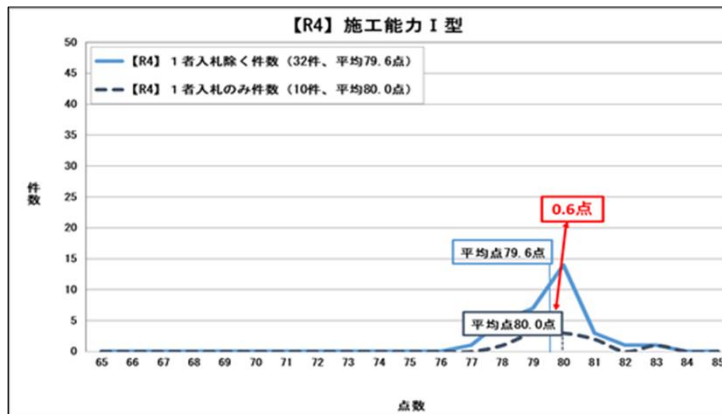
【R2】



【R3】



【R4】

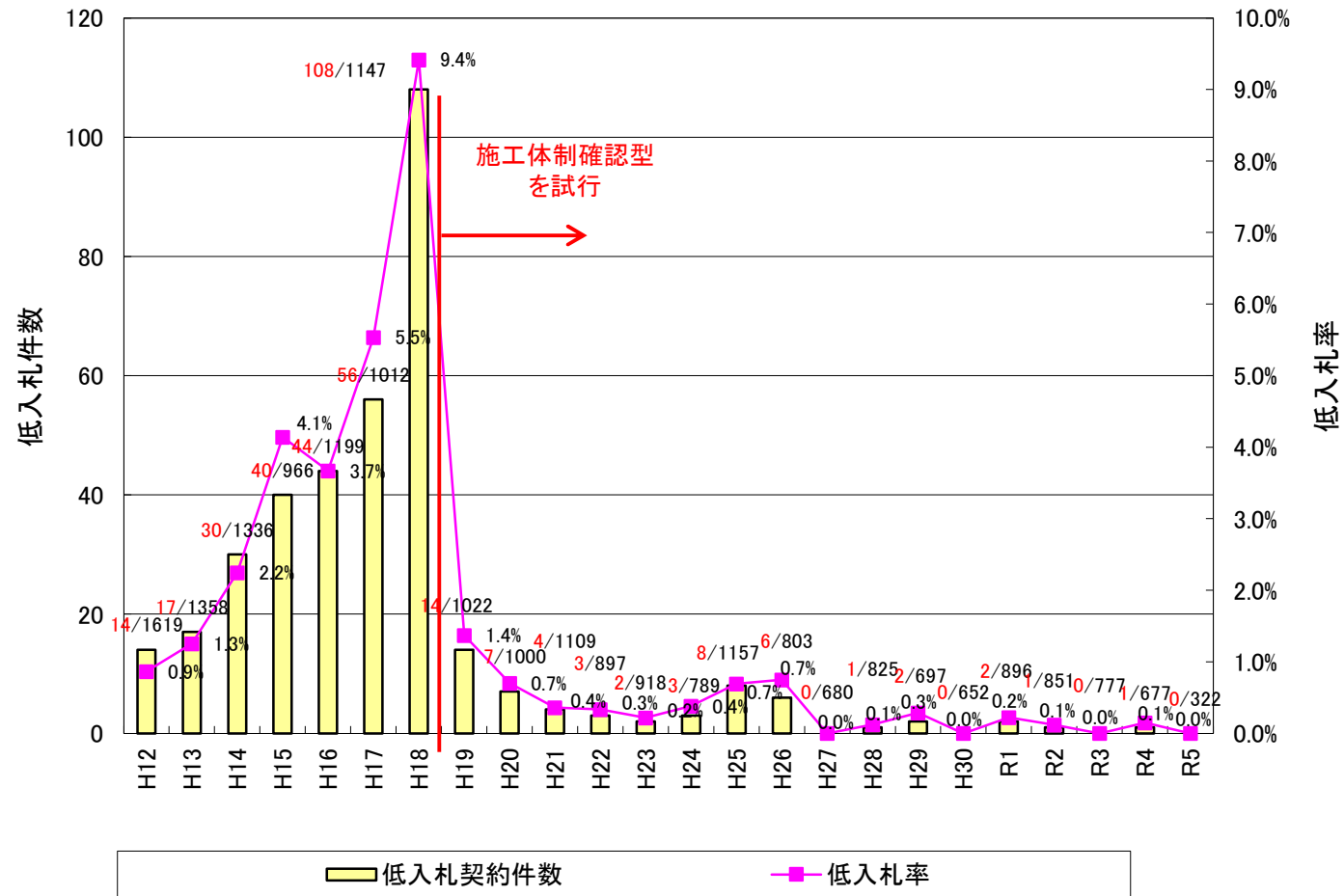


低入札による落札状況

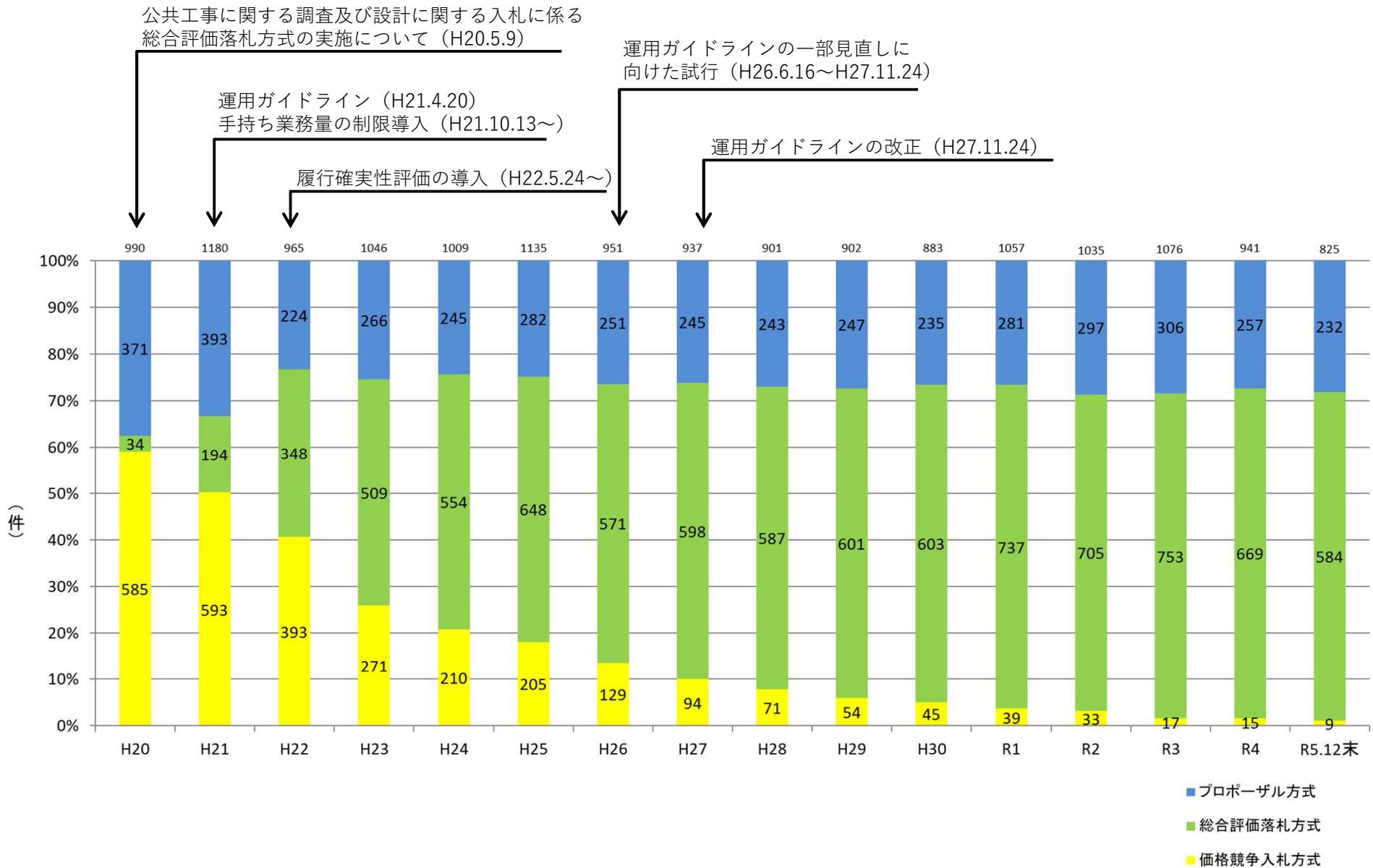
【工事関係】

○ 低入札との契約は、施工体制確認型を試行で実施した平成18年12月以降は激減しており、近年では、R4で677件のうち1件(0.1%)、R5で322件のうち0件(0.0%)と低い水準にあり、施工体制確認型の導入が低入札防止に寄与している状況。

北陸地方整備局 年度別低入札件数



※件数は、建設及び港湾空港関係。 随意契約を除く。
令和5年度は、令和5年4月～12月末までの速報値。

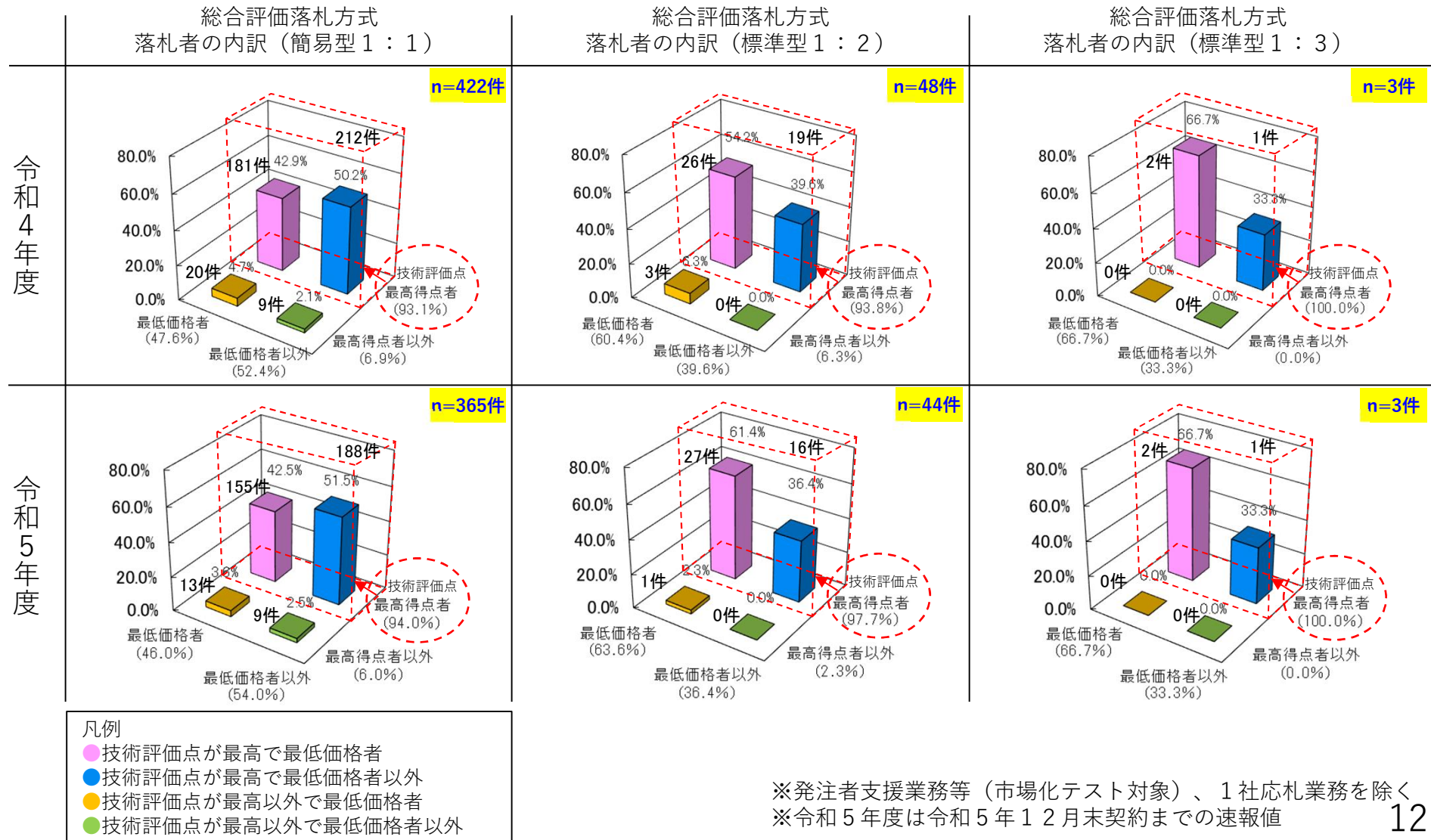


※発注者支援業務等(市場化テスト対象)、随意契約除く
令和5年度は令和5年12月末契約までの速報値

落札者の傾向（得点と価格）

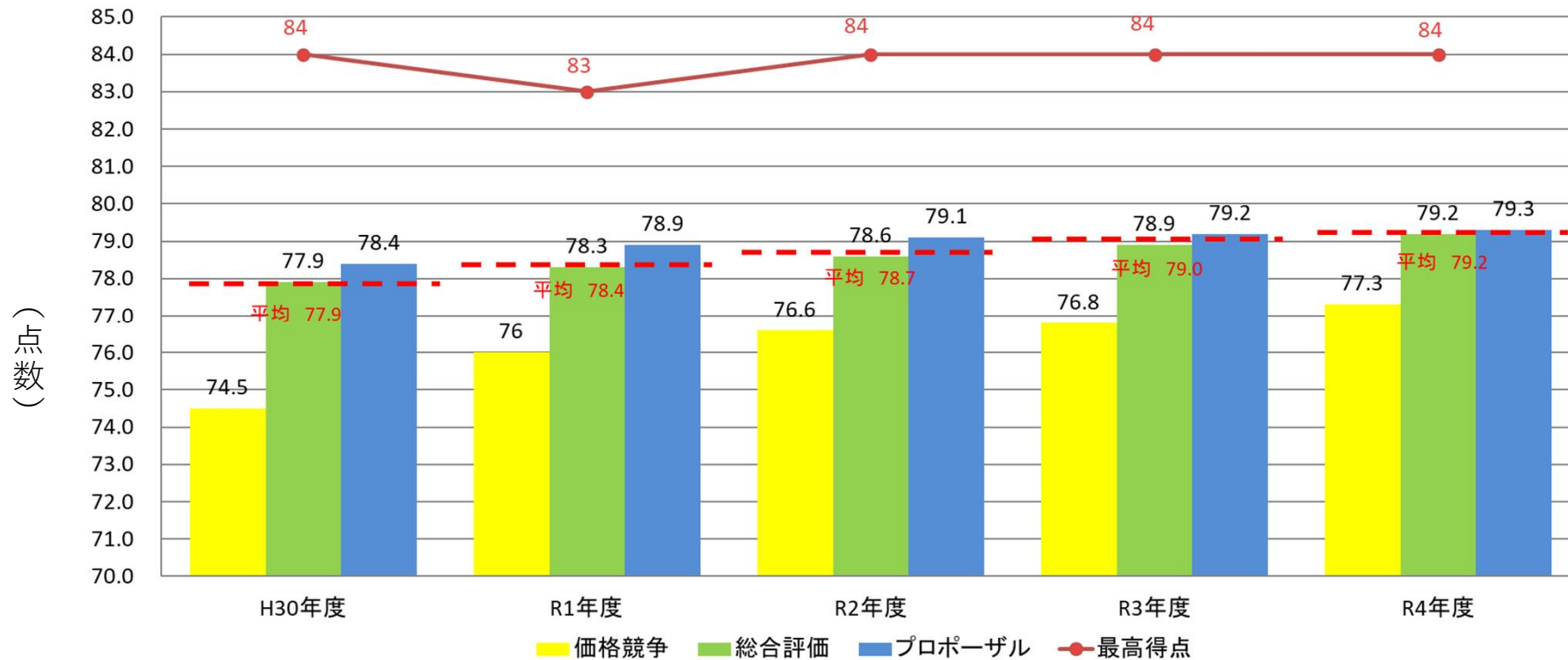
【業務関係】

- 総合評価落札方式では、簡易型、標準型とも、落札者の約9割が技術点の最高得点者。
- 技術点の最高得点者のうち、約5割は最低価格者以外が落札。（技術点による逆転）
- 簡易型、標準型ともに技術力を高く評価された者が落札する傾向。



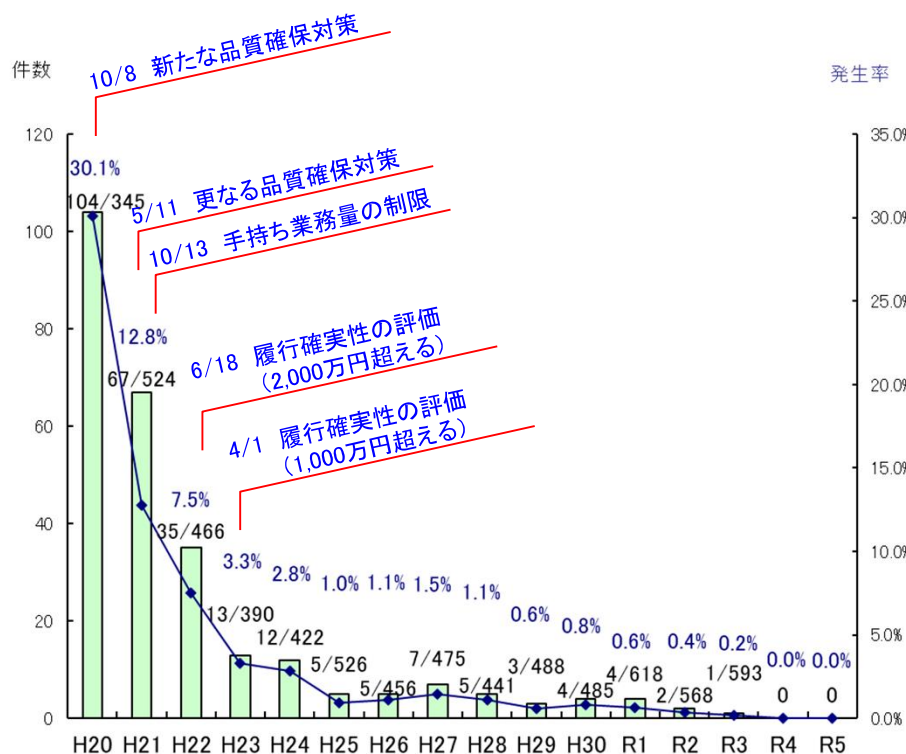
※発注者支援業務等（市場化テスト対象）、1社応札業務を除く
 ※令和5年度は令和5年12月末契約までの速報値

○ プロポーザル方式・総合評価落札方式の採用（増加）により、業務全体の品質が向上。
（業務成績が上昇傾向）

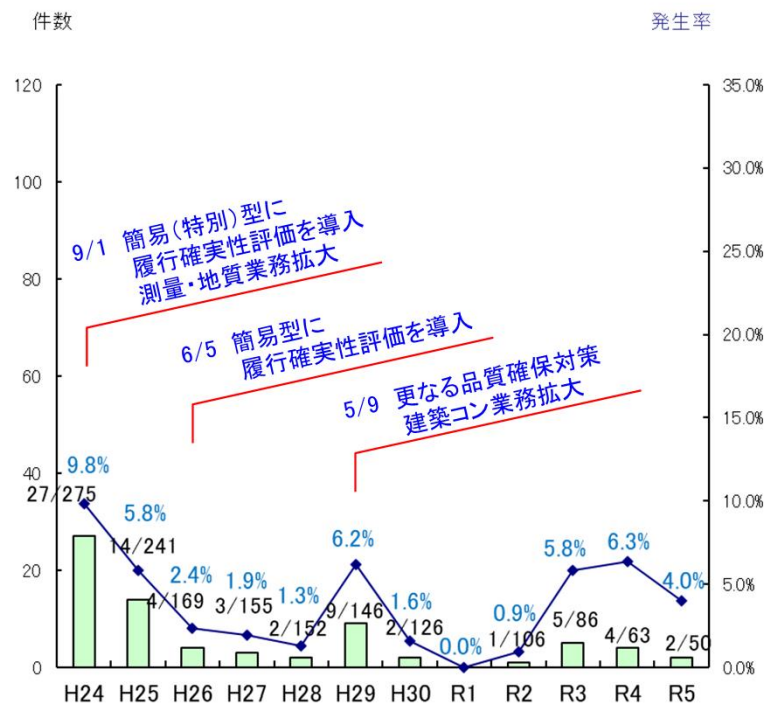


○ 平成25年6月より、1,000万円以下の総合評価（簡易型）に履行確実性の評価を導入。
 その結果、低入札の発生件数・発生率が低下。

1,000万円を超える業務



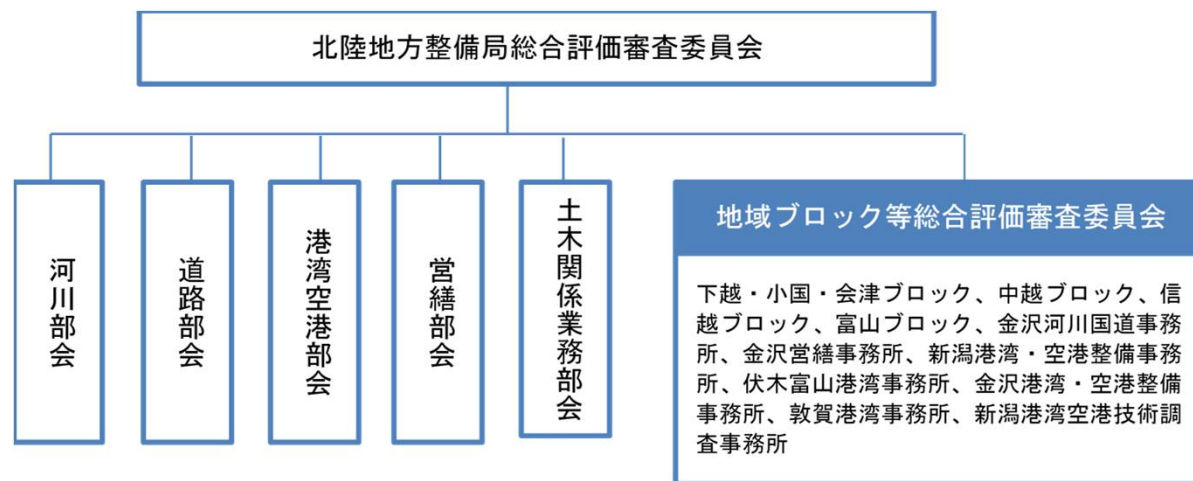
1,000万円以下の業務



■ 低入札発生件数 ◆ 低入札発生率(低入札発生件数/発注件数)

※令和5年度は、令和5年12月末契約までの速報値。

※発注者支援業務等（市場化テスト対象）を除く、港湾空港関係を除く、価格競争、総合評価方式を対象件数として算定。



【令和5年度における各部会実施結果】

部会	開催回数	審議件数	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
			上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
河川部会	11	16			□			□			□						□			□						□			□			□			□			□
道路部会	8	13												□						□			□			□			□			□			□			□
港湾空港部会	8	(工事) 15 (業務) 21						□						□						□			□			□			□			□			□			□
営繕部会	10	(工事) 13 (業務) 3						□						□						□			□			□			□			□			□			□
業務部会	23	35	□					□			□			□			□			□			□			□			□			□			□			□

- : 個別工事・業務の技術提案の評価内容等について審議
- : R4発注済の工事・業務、又はR5発注予定の工事・業務の総合評価項目等について審議
- : R5発注済の工事・業務の総合評価項目等について審議
- : ○と●の審議内容で同時開催

【令和5年度における各ブロック等実施結果】

ブロック	開催回数	R5年度																																				
		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
下越・小国・会津ブロック	1												●																									
中越ブロック	1																																					
信越ブロック	1														○																							
富山ブロック	1													○																								
金沢河川国道事務所	1																																					
金沢営繕事務所	1																																					●
新潟港湾・空港整備事務所	1																																					●
伏木富山港湾事務所	1																																					●
金沢港湾・空港整備事務所	1																																					●
敦賀港湾事務所	1																																					●
新潟港湾空港技術調査事務所	1																																					●

- : 個別工事・業務の技術提案の評価内容等について審議
- : R4発注済の工事・業務、又はR5発注予定の工事・業務の総合評価項目等について審議
- : R5発注済の工事・業務の総合評価項目等について審議
- : ○と●の審議内容で同時開催